

整備が進む

北近畿豊岡自動車道

「和田山八鹿道路」

現在、豊岡河川国道事務所では、北近畿豊岡自動車道のうち、養父市八鹿町高柳（仮称）八鹿インターチェンジから、朝来市和田山町市御堂（和田山ジャンクション）までの「和田山八鹿道路（13.7km）」の早期開通に向けて整備中です。

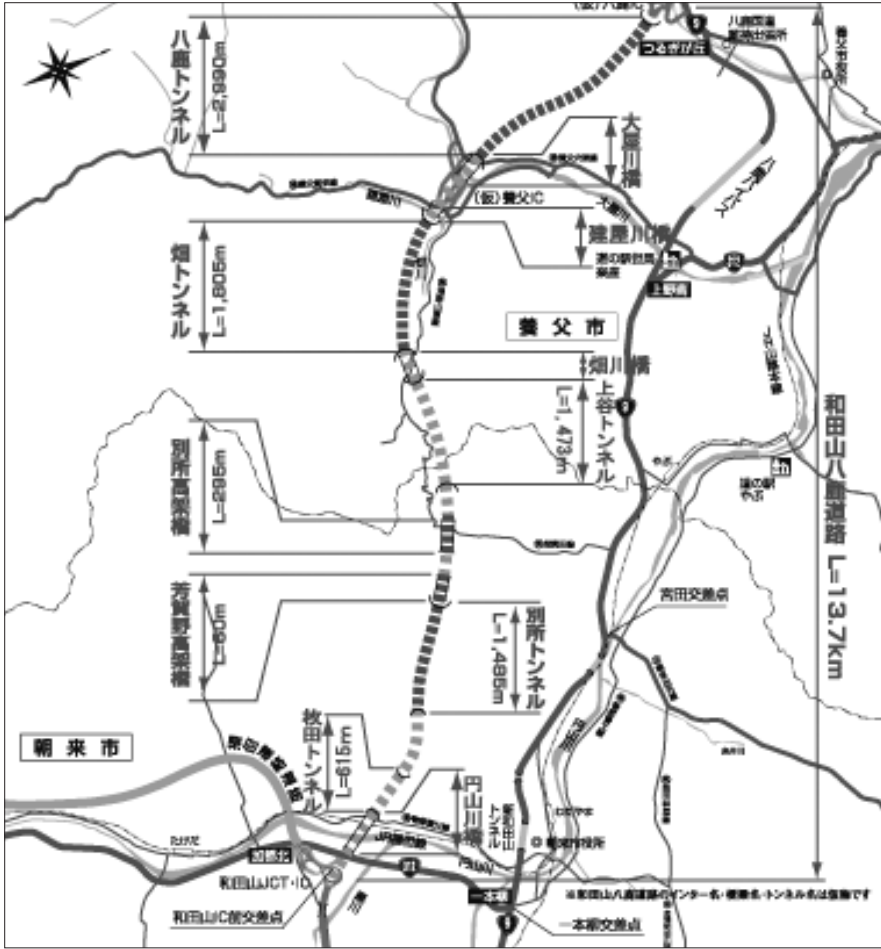
養父市内での進捗状況については、養父市八鹿町高柳（仮称）八鹿インターチェンジから、朝来市和田山町市御堂（和田山ジャンクション）までの「和田山八鹿道路（13.7km）」の早期開通に向けて整備中です。

養父市内の工事の進捗状況

養父市内では、円山川工事の発生土などを利用した、八鹿インターチェンジ（仮称）の盛土工事や、養父インターチェンジ（仮称）、八鹿トンネル、大屋川橋、畑トンネルなど全線で工事を進めています。

6月末までに全長1,805mの約50%を掘り進んでおり、完成については平成22年末を目指しています。上谷トンネルについては、平成21年8月にトンネル本体の貫通を予定しており、今後はトンネル入り口部分や内部の施設整備の工事をおこなっていきます。

橋梁工事では、建屋川橋については既に完成しており、今後は大屋川橋、畑川橋について工事を進める予定です。



八鹿インターチェンジ（仮称）

八鹿トンネル工事では、7月より米里側よりトンネル本体を掘る工事に着手しました。八鹿トンネルは延長2,990mあり、トンネル本体の完成は平成23年の夏頃を目指しています。

また畑トンネルについては、昨年よりトンネル本体を掘り始めており



建屋川橋・畑トンネル

工事中は、市内での工事車両の通過や工事機械による騒音など地域の



畑川橋



上谷トンネル

皆様には、大変な御迷惑をお掛けして
います。
和田山八鹿道路の早期開通に向け
て工事を進めて参りますので、市民
の皆様の御理解と御協力をよろしく
お願いします。

大屋川に架けるアーチ (橋の計画について)

和田山八鹿道路では、養父インターチェンジ(仮称)から大屋川を渡り、八鹿トンネル(仮称)に至る全長318.5mの区間に橋を架ける計画としており、本年より工事に着手していく予定です。

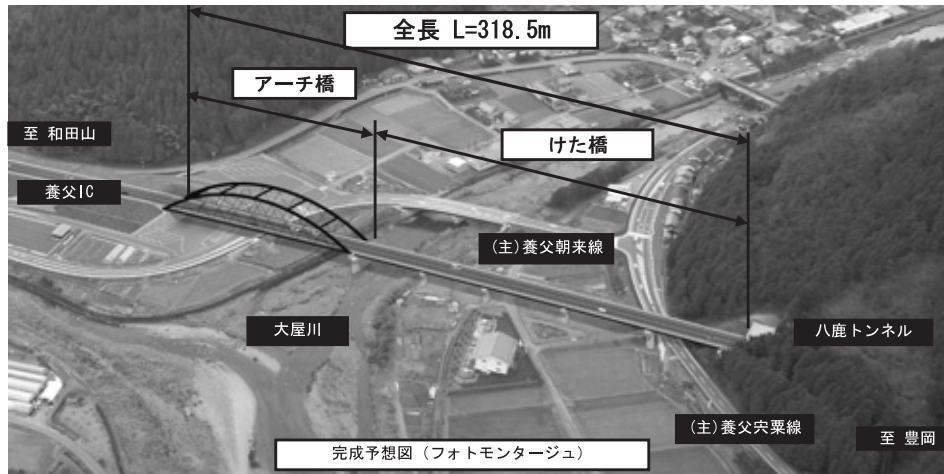
今回は、工事着手に際して橋の形式について紹介します。

計画した橋は、アーチ状の橋と、けた橋の2種類の形式の橋です。

養父インターチェンジから大屋川の間については、次の理由により橋脚間が124mと長くなることから、これに適応可能なアーチ橋を採用しました。

- ①養父インターチェンジから主要地方道養父朝来線へ出る時に見通しの確保が必要なこと。
- ②浅野水源地の取水口の移設ができないこと。
- ③大屋川内に橋脚を設置できる範囲に制限があること(河川条件)。

一方、大屋川から八鹿トンネルの間については、大きな制約条件がないため、いろいろな種類の橋を比べた結果、けた橋を採用しました。



技術の窓

①ニールセンローゼ桁橋(アーチ橋の仲間)
 アーチ橋の一種で『ニールセンローゼ桁』と呼ばれる形式を採用する。『ニールセンローゼ桁』とはアーチ部と路面部を斜めの吊材で結んだ非常にすっきりとした形が特徴で、アーチ部と路面部の部材で力を分担する構造です。通常橋脚間が100m以上の長い区間に架けられる橋です。

②少数鉸桁(けた橋の仲間)
 鋼製の橋の中で最もポピュラーなI形の桁で構成された『少数鉸桁』と呼ばれる形式を採用する。『少数鉸桁』とは従来までのものより桁本数を少なくし、構造の簡素化とコストパフォーマンスを向上させた近年よく架けられる橋です。



0796-26-2356

工務第二課 調査第二課

国土交通省 豊岡河川国道事務所

★お問い合わせ★